



[Special Report] **東日本大震災が発生、酪農乳業に大被害**

[Topics-1] 計画生産、平成22年度は3.3%減
23年度計画生産目標数量は749万トﾝ



CONTENTS

02 RELAY COLUMN

鵜川 洋樹

**ミニプラントによる
6次産業化と消費者交流**

04 SPECIAL REPORT

東日本大震災が発生、
酪農乳業に大被害

06 TOPICS-1

計画生産、平成22年度は3.3%減
23年度計画生産目標数量は749万トン

07 TOPICS-2

JIDF、平成25年10月横浜で
ワールドデイリーサミット2013開催

08 TOPICS-3

生乳安全安心全国協議会会議、
23年度活動方針決定

09 JAPAN DAIRY COUNCIL BOOKS

冊子紹介

「感動通信」&「ミルククラブ」

10 SCHEDULE CALENDAR

指定団体・中酪の月間スケジュール

12 DAIRY INFORMATION

用途別販売実績/牛乳乳製品統計など

リレーコラム

ミニプラントによる
6次産業化と消費者交流

2009年9月にスタートした民主党農政の新機軸は戸別所得補償制度と農山漁村の6次産業化である。前者はWTO体制に対応した、価格支持から直接支払いへの政策転換であり、酪農経営への導入も想定されている。後者は2008年秋に勃発したリーマン・ショックに端を発する金融危機と経済不況への対策で、内需主導型の新成長戦略の1つとして所得と雇用の確保を図ることを目指している。なお、2010年10月以降、TPP交渉への参加の是非が大きな議論を引き起こしているが、農政に求められる方向性は変わらない。

戸別所得補償と6次産業化の接点を酪農経営のミニプラント(小規模な牛乳処理施設)に見出すことができる。直接支払いが行われるためには、納税者である国民の酪農への理解と支持が不可欠であり、そのために消費者との交流が重要になる。この点でミニプラントを整備した酪農経営では、牛乳乳製品の直接販売により消費者との交流を図っている事例が多い。一方、ミニプラントによる牛乳乳製品の製造と販売は酪農経営に新たな付加価値を生み出すものであり、6次産業化の典型といえる。元々、酪農における6次産業化の歴史は古く、明治期に開設された小岩井農場まで遡ることができる。酪農経営が自家産の生乳から牛乳や乳製品を製造・販売するような取り組みは、規模の大小を問わず、多くの地域で、現在まで連綿と続いている。

本稿では、ミニプラントを整備した酪農経営(ミニプラント型酪農経営)の実態とミニプラントで製造された牛乳(ミニプラント牛乳)の消費者意識を東北地域の事例分析結果から紹介する。

ミニプラント型酪農経営の全体像……………

ミニプラントを整備し、牛乳を製造・販売する酪農経営に関する統計数値はなく、行政でも一元的に把握されていない。食品工場(食品衛生)を所管する都道府県の保健所では乳処理業と乳製品製造業の許認可を与えているが、その経営主体までは調査されていない。一方、農林水産省では乳製品工場および牛乳処理場に関する調査を実施し、「牛乳乳製品統計」として公表している。2008年の工場数は672で、経営組織別では「会社」が467、「農業協同組合」が51、「個人・その他」が154である。ミニプラント型酪農経営が含まれると考えられる「個人・その他」の特徴は、1工場あたりの生乳処理量が少なく、全体の生乳処理量に占める割合は0.4%に過ぎないが、全体の工場数では23%、日処理量2t未満の工場数では43%を占め、大きな割合になっていることである。

また、酪農経営における消費者交流の取り組みとして、広範かつ組織的に推進されている酪農教育ファームの中にも、ミニプラント型酪農経営が少なくないと考えられる。酪農教育ファームの事務局((社)中央酪農会議)での聞き取り調査によれば、257の認証牧場(2008年)のうち牛乳乳製品を製造販売している牧場が100以上あると考えられている。この数値にはソフトクリーム製造や経営外の工場への製造委託、共同出資の工場での製造も含まれている。そして、この中で処理施設を経営内に持つ牧場数は40程度と想定されている。その場合、認証牧場のうち16%の酪農経営が牛乳乳製品の処理施設を有していることになり、極めて高い割合といえる。牛乳乳製品を製造販売する酪農経営は食育や消費者交流への関心が高いと考えることができる。

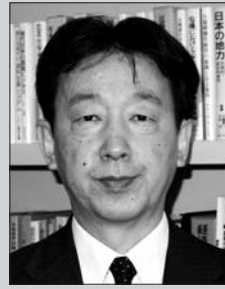
これまでみてきた「牛乳乳製品統計」と酪農教育ファームの実態から、牛乳乳製品を製造販売するミニプラント型酪農経営は消費者交流への関心が高く、その経営数は40~150程度、消費地に近接して立地する傾向があると考えられる。

ミニプラント型酪農経営の成立条件……………

ミニプラント型酪農経営と消費者との交流においては、牛乳乳製品の販売の仕方が大

鵜川 洋樹 (うかわ ひろき)

1978年北海道大学農学部卒業。農林省草地試験場、農業研究センター、北海道農業試験場、農研機構東北農業研究センターを経て、2009年から秋田県立大学生物資源科学部教授。専門は農業経営学、畜産経営論。主な著書に「北海道酪農の経営展開—土地利用型酪農の形成・展開・発展—」(農林統計協会、2006年)、「資源循環型酪農・畜産の展開条件」(共著、農林統計協会、2007年)など。



きな影響を与えると考えられる。その販売方式には、(1)宅配、(2)通販、(3)店頭(直売所)、(4)卸し(小売店)があり、営農現場ではそれらが組み合わされている。また、牛乳処理工場については、(1)経営内に設置する、(2)複数の酪農経営が共同出資して設置する、(3)経営外の工場に牛乳処理(製造)を委託する、の3つのケースがある。酪農経営が6次産業として新たな付加価値(所得と雇用)を生み出し、経営として成立するためには次の条件が必要と考えられる。

1つは、酪農生産過程や牛乳製造過程に特徴を持つことにより、大手乳業会社の牛乳と差別化できることである。調査事例では、放牧やNon-GMO、低温殺菌をセールスポイントにしている経営が多い。2つは、牛乳乳製品の製造・販売のための労働力の確保である。多くの酪農経営は、酪農生産だけで家族労働力を使い切っていて足りないくらいの状況であることから、牛乳乳製品の製造・販売のためには雇用労働力への依存が必要になり、ここに新たな付加価値(所得と雇用)の源泉がある。3つは、牛乳乳製品の製造機器や施設の投資には少なくとも5,000万円程度は必要とされていることから、その投資を回収するための牛乳乳製品の販路の開拓が不可欠である。販売方式としては、宅配や直売所、量販店・生協への卸し、通販などがあり、営農現場では多様な組合せで取り込まれている。これらの条件が一定程度整い、行政支援の追い風があれば、今後も6次産業化の取り組みが新たに生まれる可能性は大きい。

ミニプラント牛乳の消費者意識…………

ミニプラント牛乳の販売方式の中で、消費者との交流度合いが大きいものとして、日常的に対面する機会の多い宅配方式がある。牛乳などを宅配で販売する酪農経営の顧客(消費者)調査から、次のことが明らかになった。

はじめに、購入理由に関する消費者意識には購入年数による違いがみられ、購入年数の長い消費者は直販スタート時からの顧客であることから、酪農経営を応援したいとする思いが強く、酪農経営への要望も、牛乳生産を継続すること以外には、特にないという回答が多い。一方、購入年数が短くなると、酪農経営で生産・製造された牛乳に対する評価(おいしい、新鮮など)が購入理由になってくる。酪農経営への要望としても、牛乳の品質(安全性)に関わる生産方式として減農薬や有機へのこだわりが出てくる。牛乳の購入上限価格に関する質問で、購入年数が短いほど高くなるという傾向がみられることも特徴的であり、これは購入年数が短い顧客ほど牛乳それ自体を高く評価しているからである。

次に、我が国の酪農経営への要望に関する意識には購入年数による違いはなく、牛乳生産の継続に加え、地域資源の利用や環境保全的生産方式などがあげられ、そのための財政負担には賛成するという回答がほとんどであった。ただし、財政負担する場合の条件(=クロスコンプライアンス)として、環境保全的で地域資源に立脚した酪農家を対象とすべきとする回答が半数を超えていた。

このように、ミニプラント牛乳の消費者には酪農支援に対する高い意識が醸成されている。これらのことから、ミニプラント型酪農経営の展開は酪農への理解と支持を広げる消費者交流として有効であり、我が国酪農の存続にとって大きな意義があると考えられる。

[本稿は、平成21年度畜産物需給関係学術研究情報収集推進事業(独)農畜産業振興機構)で実施した研究課題の成果の一部である。詳しくは下記のHPをご覧ください。
http://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_000020.html

東日本大震災が発生、酪農乳業に大被害

3月11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖大地震が発生した。大地震と大津波の発生で太平洋側の東北、関東地方を中心に酪農家、乳業工場などにも大きな被害をもたらした。また、津波による東京電力福島第1原子力発電所の事故で放射性物質が飛散し、福島県を中心に放射能被害が拡大した。

■ 岩手、宮城、福島の酪農乳業に大被害 生乳廃棄、飼料、燃料、包材も不足

東日本大震災は死者、行方不明者合計で2万4,000人を超える大きな被害をもたらした。酪農乳業への被害も甚大であり、被災地の岩手、宮城、福島の3県を中心に東北地方の太平洋沿岸部の酪農家、乳業工場、飼料工場は地震による津波の被害を受けた。酪農現場では停電で搾乳機械が使用できず、集乳もされないため生乳を廃棄。さらに、燃料や包材の不足も重なり、乳業工場も稼働できない状況となった。

また、沿岸部の飼料工場が壊滅的な被害にあったことや、道路の損壊や燃料不足で酪農家に飼料が運べず、酪農家は生乳廃棄と飼料不足という二重の被害を受け、いまだに被害の全容が把握できないほど事態は深刻化している。

関東地域でも、関東生乳販連管内のクーラーステーション33カ所のうち、茨城、栃木、千葉、群馬の一部で停電のため稼働が停止し、酪農家は生乳を廃棄。茨城県内にある包材工場が操業を停止したため紙パックなど資材が足りず、停電や重油など燃料も不足したことで乳業工場が稼働できず、東日本では牛乳乳製品が欠品する事態となった。

■ 原発事故で福島、茨城産生乳出荷中止 生産者団体は国に万全の支援要請

一方、地震による津波で福島県にある東京電力の福島第1原子力発電所で爆発事故が発生し、放射性物質が飛散した。近隣の酪農家が避難や屋内退避を強いられ、やむを得ず乳牛を残したまま、避難せざるを得ない酪農家もいた。

原発事故の影響で、福島県産生乳から国が定めた暫定規制値を超える放射性物質が検出。政府は3月21日

に福島県産生乳の出荷停止を指示したため、県内約500戸の酪農家が生乳の全量廃棄を開始。その後、茨城県でも生乳から暫定規制値を超える放射性物質が検出されたため、政府は23日に同県産生乳の出荷停止を指示。福島、茨城の両県で生乳出荷ができない緊急事態となった。

政府の原子力災害対策本部は、原発事故で出荷停止となった生乳はクーラーステーション(CS)や乳業工場の単位で検査の試料を採取し、暫定規制値を下回った場合は、CSや工場に属する市町村単位で出荷停止を解除する方針を決めた。この方針に基づき、4月8日に福島県会津地方の7市町、10日には茨城県全域で出荷停止が解除。その後、福島県では16日に25市町村、21日に2市町、5月1日に2市町(一部区域を除く)でそれぞれ生乳の出荷停止が解除された。

■ 本会が乳業団体に円滑な受乳を要請 廃棄乳の乳代、とも補償などで補てん

全中、日本酪政連など生産者団体は震災直後から政府に対し、廃棄された生乳への補償、集乳車や飼料、家畜輸送車への燃料の優先確保、計画停電下での乳業工場、飼料工場への配慮、原発事故に伴う出荷停止や風評被害への万全の補償を要請した。

本会も震災直後から、被災地酪農家の早期再建、牛乳乳製品の安定供給再開に向けた支援を政府に要請。さらに乳業団体に対して、①集送乳や乳業工場での生乳受け入れが円滑に行われるよう酪農乳業で協力する②出荷自粛の行政指示以外の地域の生乳は通常取り受乳、取引する③流通からの原乳に関する問い合わせは、行政の方針に基づき取引していると説明する④燃料などの不足で製造コストが上昇しており、特売などの販促は慎む—ことなどを要請した。さらに、農水省牛乳

乳製品課には、これら4項目の要請内容を乳業者に強く指導するよう申し入れた。

一方、東北、関東の酪農家が、震災で出荷できない生乳を廃棄したため、廃棄した生乳の乳代について、管内の酪農家で負担する「とも補償」の実施や、県連、単協独自の基金の取り崩しで対応した。

なお、東北、関東の酪農生産者団体は、原発事故で出荷停止となり、廃棄した生乳については毎月、東電に損害賠償として早期に補償するよう求めている。

■ 1次補正予算、農水省は3,817億円 共同畜舎の復旧、死亡家畜の処理を支援

政府は大震災からの復旧を支援するため、4月22日に平成23年度第1次補正予算を閣議決定して国会に提出し、5月2日に成立した。予算総額4兆153億円のうち、農水省関係は3,817億円となった。

農水省予算では、農業生産関連施設の復旧、農業機械の導入などを支援する「東日本大震災農業生産対策交付金」に341億円、農林漁業金融公庫資金などを無担保、無保証人で、一定期間無利子で借りられる「農業経営復旧等のための金融支援」に78億円、被災農家で経営再開の意志がある農家の復旧の取り組みに支援金を交付する「被災農家経営再開支援事業」に52億円が計上された。

酪農乳業関係では「東日本大震災農業生産対策交付金」として、被災した共同畜舎などの施設の復旧、共同畜産機械のリース方式による導入、放牧関連施設や飼料生産機械の修理などの費用、被災した乳業工場の改修、工場の再編の費用などを支援する。

また、震災で死亡した家畜の処理費用を補助する「被災家畜円滑処理・関連業種再開支援事業」に6億円、北海道、九州などから東北地方の畜産農家に配合飼料を供給する場合、地域の配送基地までの輸送経費を助成する「配合飼料緊急運搬事業」に11億円を措置した。

さらに、今回の大震災で、農畜産物の収穫量が平年に比べて30%以上減少し、かつ損失額が平年の10%以上減少する被害を受けた農家を対象に、農協や市中銀行などの金融機関から無利子で運転資金が借り入れできる融資枠として1,000億円を創設した。

政府は今後、被災地の本格的な復旧、復興支援策を盛り込んだ追加の補正予算をさらに検討していく方針。

■ 牧草から基準超える放射性物質検出 東電、5月末に賠償金仮払い決定

一方、福島第1原発事故が終息しない中で、東北や関東の一部地域では、牧草から暫定許容値を超える放射性セシウムが検出された。許容値を超えた地域の牧草は粗飼料として給与できないため、各県は原発事故以降に生産された牧草などの牛への給与、放牧については自粛するよう酪農家などに周知徹底を図った。酪農家にとって牧草などの粗飼料は欠かせず、今後の酪農生産への影響が懸念されるため、酪農団体の中からは、国による飼料畑の買い上げを求める要望が出た。

また、東京電力は5月13日、福島第1原発事故で生乳の出荷制限を余儀なくされた酪農家など農林漁業者に対し、5月末までに賠償金の仮払いを行うと発表した。東電は4月15日に福島第1原発から半径30^{キロ}圏内の避難者に対し、当面の生活資金として一般世帯は100万円、単身世帯は75万円の仮払い補償金の支払いを決めていた。しかし、政府の指示で避難したことで、経営ができなくなった農林漁業者などへの賠償金については、国の原子力損害賠償紛争審査会が被害の範囲などをまとめた指針を踏まえる必要があったため、支払いの決定が遅れていた。

審査会は4月28日、風評被害を除いた営業損害範囲などを定めた1次指針をまとめ、これを踏まえ、政府は5月12日に東電に仮払いを要請。JAなどで構成する各県の協議会が一括して東電に賠償請求し、東電が請求されたものについて、一定の比率で賠償金を仮払いする仕組みができた。

さらに、政府は同日、福島第1原発から半径20^{キロ}圏内に設定された警戒区域内で生存している家畜の安楽死処分も決定し、福島県に指示した。同県は家畜所有者の同意を得た上で、殺処分の作業に入った。同区域内には約3,500頭の牛が飼養されていたが、同県によると、指示が決定された当時、約1,300頭が生存しているといわれた。

現時点で大震災の詳細な被害は明らかとなっていないが、被災地の1日も早い復興を願うとともに、被災した酪農関係者に改めてお見舞い申し上げたい。

トピックス…①

計画生産、平成22年度は3.3%減

23年度計画生産目標数量は749万ト

本会は5月31日に指定団体・全国連実務責任者会議を開き、平成22年度計画生産実績数量と平成23年度の指定団体別計画生産目標数量を報告した。

● 22年度は目標未達もペナルティなし

日本酪農乳業協会は当初、22年度の生乳需給は緩和して乳製品在庫が大幅に増加すると予測。しかし、生乳需給を巡る中期的な環境は流動的であり、短期的な需給見通しで減産型計画生産を実施した場合、中期的には予想超えた生乳の過剰・不足が生じるおそれがあった。このため、22年度の計画生産は3年程度の中期的な需給動向などを見据えた弾力的な対策を実施すると同時に、22年度末の乳製品在庫量は21年度末に比べて増加させない減産型計画生産としてスタートした。22年度は宮崎県での口蹄疫発生、夏場の記録的な猛暑に加え、今年3月には東日本大震災が発生し、年間を通じて生乳生産は低調だった。この結果、22年度の計画生産実績数量（受託乳量）は733万3,990トで前年実

績比3.3%減、計画生産目標対比2.1%減となった。計画生産目標を大きく下回ったが、未達ペナルティを休止しているため、ペナルティの対象となる指定団体はなかった（表1参照）。

一方、本会は2月9日の理事会で23年度の計画生産対策を決め、各指定団体に販売基準数量の配分と、特別調整乳数量の一次配分を行った。その後、特別調整乳数量の増・減を希望する指定団体はなかったため、3月18日に供給目標数量（販売基準数量+特別調整乳数量）を正式に配分。選択的拡大数量は4月27日に希望する指定団体に配分した。その後、期中のアウトイン修正を行った結果、計画生産目標数量は749万3,618トとなった（表2参照）。

(表1) 指定団体別の平成22年度生乳計画生産実績数量

(ト、%)

	計画生産目標数量		受託乳量実績	前年実績比	供給目標数量実績数量	供給目標数量対比
		供給目標数量				
北海道	3,829,894	3,258,668	3,787,734	99.0	3,226,290	99.0
東北	616,260	607,198	590,424	93.3	581,363	95.7
関東	1,203,747	1,192,692	1,168,082	94.2	1,156,929	97.0
北陸	112,523	112,496	105,912	93.1	105,886	94.1
東海	424,475	419,275	410,305	94.9	405,245	96.7
近畿	201,702	201,702	193,277	94.4	193,277	95.8
中国	298,790	298,405	295,297	96.1	294,921	98.8
四国	142,001	141,901	139,586	96.4	139,488	98.3
九州	661,766	660,740	643,374	94.3	642,349	97.2
都府県	3,661,264	3,634,410	3,546,256	94.3	3,519,457	96.8
全国	7,491,158	6,893,078	7,333,990	96.7	6,745,747	97.9

(表2) 指定団体別の23年度計画生産目標数量(アウトイン修正後)・5月16日現在

(ト、%)

	計画生産目標数量					
	前年実績比	供給目標数量			選択的拡大生産数量	
		販売基準数量	特別調整乳数量			
北海道	3,865,869	102.1	3,318,869	3,268,273	50,596	547,000
東北	610,969	103.5	605,969	599,580	6,389	5,000
関東	1,191,396	102.0	1,190,446	1,178,719	11,727	950
北陸	110,515	104.3	110,487	109,470	1,017	28
東海	418,559	102.0	416,459	412,505	3,954	2,100
近畿	198,347	102.6	198,347	196,563	1,784	0
中国	298,025	100.9	296,140	293,283	2,857	1,885
四国	140,356	100.6	140,243	138,896	1,347	113
九州	659,582	102.5	658,282	651,525	6,757	1,300
都府県	3,627,749	102.3	3,616,373	3,580,541	35,832	11,376
全国	7,493,618	102.2	6,935,242	6,848,814	86,428	558,376

トピックス…②

JIDF、平成25年10月に横浜で

ワールドデイレースミット2013開催

国際酪農連盟日本国内委員会（JIDF）が主催し、国際酪農連盟（IDF）が共催する「ワールドデイレースミット2013」が平成25年10月に横浜市で開催される。今号ではIDF、JIDFの概要とサミットについて紹介する。

● JIDF、日本の酪農乳業発展に大きく寄与

IDFは1903年にベルギーのブリュッセルに設立された。現在の加盟国は52カ国。酪農乳業関係者が国際社会で共通している諸問題の解決を目指すため、加盟国間で意見交換しつつ、消費者の栄養、健康、幸福に寄与し、良質な生乳の生産と乳製品の開発普及に努め、科学的、技術的、経済的発展の推進を目的とした非営利的で非政治的な国際団体。

日本は1956年に日本国際酪農連盟として加盟、1962年には農林大臣から社団法人の認可を受けた。その後、行政改革の一環として、より効率的で効果的な支援が提供できる団体作りが強く求められたことから、2004年5月に社団法人を返上。国際酪農連盟日本国内委員会と改称し、財団法人日本乳業技術協会の中に独立した組織として位置づけられた。2011年5月現在の会員数は団体会員52、特別会員1、個人45。

JIDFの業務は①IDF関連②FAO(国連食糧農業機関)／WHO(世界保健機関)食品規格委員会関係③牛乳乳製品などのISO規格関係④2013年IDFワールドデイレースミット日本開催関係一の4つに区分されている。

JIDFは発足以来、酪農乳業に関する豊富な国際情報を積極的に会員に提供すると同時に、日本が世界に誇る関連の学術研究や技術の成果を発信しつつ、世界の酪農乳業界における日本の地位を高め、我が国における酪農乳業の発展にも大きく寄与している。

● 牛乳の再認識をテーマに横浜で5日間開催

IDFワールドデイレースミットは、1903年のIDF設立から毎年1回、総会と同時に開催されている歴史が長い会議。日本では1972年と1991年に東京で開催され、今回で3回目となる。

サミット2013の日本開催は、2009年のIDF総会で決定した。これを受け、JIDFは組織委員会（委員長・田中要株式会社明治特別顧問）を設置。同委員会の下に企画、財務・広報、プログラムの各小委員会を立ち上げ、サミットの具体的な内容を検討している。サミットのテーマは、「Discover Milk Again Given by Mother Earth」（牛乳の再認識—母なる大地からの贈り物—）。国際化が進む中で、今後の酪農乳業は、食糧需給、飼料、環境、エネルギー、家畜の疾病予防、家畜福祉などの諸問題について、国際社会と協調していくことが不可欠となっている。このような情勢の下、サミットでは、我が国や世界の最新の酪農乳業に関する市場の動向や諸問題の解決への手がかりとなる新たな科学技術などについての情報交換と研究開発を支援する場を提供する。

日程は、23年10月28日から11月1日までの5日間、横浜のパシフィコ横浜、パンパシフィック横浜ベイホテル東急で開催される。28日にサミットの開会式、29日には世界的な乳業メーカーのCEO（最高経営責任者）が講演するワールドデイレースミットフォーラムを開催するほか、最終日まで各国の研究者による一般講演や情報交換、日本の乳業工場や酪農家などを視察するテクニカルツアーを行う予定。サミットの参加者は海外の加盟50カ国から650人（同伴者100人含む）が来日し、日本側の参加者200人と合わせて850人の参加を見込んでいる。JIDFでは「今回のサミットには、乳業メーカーだけでなく、日本の酪農家も積極的に参加してもらいたい」としている。

トピックス…③

生乳安全安心全国協議会会議、
23年度活動方針決定

本会は5月6日付で書面表決により、生乳の安全・安心確保のための全国協議会を開催し、平成22年度の活動報告と、23年度の活動方針を決めた。

● 22年度の活動報告

21年度末に日本酪農乳業協会（Jミルク）が実施した生乳中の管理対象物質等の定期検査で、殺菌消毒剤に含まれる塩化ジデシルジメチルアンモニウム（DDAC）が検出された。このため、22年度は全国協議会で決定した安全、安心の取り組み内容を拡充、再発防止に取り組むことが喫緊の課題となった。

具体的には、引き続き、チェックシートの重点記帳項目として①動物用医薬品の投薬記録②ミルクカー・バルククーラーの洗浄確認記録③農薬使用記録—の3点を設定。新たに重点指導項目として動物用医薬品の休薬期間の遵守と確認検査の実施、洗浄剤と殺菌消毒剤の適正使用の遵守も設定した。また、21年度の定期的検査でDDACが検出されたことを踏まえ、本会は指定団体にDDACを含む殺菌消毒剤の適正使用を求める指導文書を通知。7月には適正使用を促すパンフレットを作成して指定団体に通知した。指導方法としては、農協等ができるだけ酪農家を巡回、パンフレットを使って殺菌消毒剤の危険性を十分説明することや、すでに使用している酪農家には使用方法などの聞き取り調査を行い、適正な使用を指導するよう求めた。これらの指導後、全酪農家を対象に使用実態を調査した結果、生乳に混入する可能性のある搾乳の部分で、殺菌消毒剤の使用実態はないと指定団体から報告された。

22年度の取り組みの成果と課題としては、21年度から重点記帳項目を設定し、各地で記帳の取り組みを強化した結果、未記帳者の割合は0～4%で、21年度の1.1～6.9%に比べて向上したが、記帳開始から5年が経過する中で、記帳率は依然として100%に達せず、さらなる取り組みの強化が必要となった。

また、生乳に混入する危険性がある殺菌消毒剤と動物用医薬品についても、適正使用と休薬期間の遵守を指導したが、改善の必要がある酪農家があった。

支援体制については、地域段階で農協が酪農家の殺菌消毒剤の使用実態を把握できた。しかし、1日に複数の酪農家を巡回指導する方法が、防疫の観点から懸念が示されたほか、重点指導項目とした動物用医薬品

と殺菌消毒剤の確認検査の未実施、不適正な使用の酪農家があったため支援の強化が課題となった。全国段階では、全国で足並みを揃えた取り組みの推進や殺菌消毒剤の適正使用の遵守など再発防止策を支援した。しかし、検査で基準値を超えた物質の原因排除には、農協の販売製品でなく専門的知識が必要だったこともあり時間がかかった。このため、今後は動物用医薬品の販売会社など関係者による生産者への意識啓発の取り組みが重要であることが改めて浮き彫りとなった。

● 23年度の活動方針

平成23年度の生乳の安全・安心の確保の取り組みについては、22年度の課題を踏まえ、『酪農家自らが生乳の生産管理の状況を点検し、生乳への農薬等の残留事故等の発生を未然に防止できるような体制を構築する』『家畜伝染病予防法を踏まえた防疫対策を徹底する』ことを目標に、全国段階及び地域段階での生産者組織及び業界関係者における支援体制を構築することを基本に実施する。

具体的な取り組みとしては、引き続き、生乳の安全・安心確保対策推進要領を作成し、要領に基づき地域、全国の各段階で計画的に取り組みを推進する。要領では、昨年に引き続き①動物用医薬品の投薬記録②ミルクカー・バルククーラーの洗浄確認記録③農薬使用記録の3点を重点記帳項目として100%記帳を目標と設定。重点指導項目としては、動物用医薬品の休薬期間の遵守と確認検査の実施、洗浄剤と殺菌消毒剤の適正使用の遵守を設定し、具体的な内容は、今後、指定団体などで協議・決定する。

さらに、家畜伝染病予防法等の一部改正を踏まえ、生乳の生産段階での防疫対策の周知徹底を図るとともに、生乳生産管理マニュアル等の改訂版や、巡回指導時の留意点などをまとめ、地域の取り組みを支援していく。そのほか、販売会社等に対して本取り組み内容を伝えるとともに、業界関係者による生産者への意識啓発の取り組みがなされるよう働きかけていく。

「感動通信」&「ミルククラブ」

◆ 感動通信 Vol.25 (2011年4月)



発行日：年4回

感動通信とは…

主に教育関係者に向けて、酪農教育ファーム活動の普及、啓蒙を図ることを目的とした機関誌



〔配布対象〕 認証牧場、教育関係者、都道府県庁、農水関連団体、指定団体。

〔主な内容〕 ①酪農体験に学びの効果あり

②酪農教育ファームにおける「いのちの学び」とは

詳しくは、中央酪農会議HPをご覧ください。

<http://www.dairy.co.jp/edf/tool/tool.html#2>

◆ ミルククラブ (2011年4月)



発行日：年6回 偶数月に発行

ミルククラブとは…

農村・牧場・酪農生産・酪農文化・酪農家の暮らしに関心を持ち共感する読者向け情報誌



〔配布対象〕 一般消費者(有料会員)、教育関係者、(財)全国学校栄養士協議会、都道府県庁、農水関連団体、指定団体、農協、酪農家。

〔主な内容〕 一般消費者などに向けた日本酪農業の理解醸成や、牛乳・乳製品消費促進のための情報発信誌。

詳しくは、ミルククラブHPをご覧ください。

<http://www.milk-club.jp/>

SCHEDULE CALENDAR

6月 JUNE

□中央酪農会議・関連団体スケジュール

■指定団体スケジュール

日/SUN	月/MON	火/TUE	水/WED	木/THU	金/FRI	土/SAT
			1	2 日本酪農乳業協会： 通常総会 (12時、KKRホテル東京)	3 平成23年度生乳計画 生産担当者会議 (13時30分、東京八重 洲ホール)	4
					東海：酪農教育ファ ーム愛知県推進委員会 (11時、愛知県酪農協) 北陸：第2回生乳受託 販売委員会 (12時、富 山市)	
5	6	7	8	9 全国農協乳業協会： 通常総会 (13時30分、 KKRホテル東京)	10	11
	東北： 年度末定期監査 (11時)	北陸：第1回理事会、 監事会 (13時、金沢市) 四国：決算監査 (10時 30分、販連事務所) 地域交流牧場全国連絡 会：東北ブロック会議 (11時、東北生乳販連)	ホクレン：酪農教育フ ァーム北海道推進委員 会 (10時、ホクレンビル)	九州：第1回監事会	東海：第77回理事会 (11時30分、アレクス ビル)	
12 日本酪農教育ファーム 研究会：総会	13	14	15	16	17 酪農ヘルパー全国協 会：通常総会 (13時、 東京証券会館)	18
四国：第2回理事会 (10時30分、サンポート ホール高松)	北陸：第2回監事会 (11時30分、新潟市)				近畿：酪農教育ファ ーム第11回地域推進委 員会・第3回地域専門 委員会 (大阪JAビル) 近畿：生乳の安心安 全確保のための近畿地 域協議会 (大阪JAビル)	
19	20	21 指定団体・全国連実務 責任者会議 (13時30分、 東京八重洲ホール)	22	23	24 中央畜産会：通常総 会 (13時、日本青年館)	25
	東北： 第2回理事会 (11時)	ホクレン：通常総会 (共済ホール)	関東：第147回理事会 (13時30分、湯島夏目 ビル)	東海：第18回牛乳消 費拡大緊急対策プロジ ェクト会議 (11時30分、アレクス ビル)		
26	27	28 理事会・通常総会 (13時30分、KKRホテ ル東京)	29 地域交流牧場全国連 絡会：専門部会 (13時 30分、コープビル)	30 地域交流牧場全国連 絡会：第62回理事会 (10時、コープビル)		
	東海：決算監査 (10時30分、アレクス ビル)					

7月 JULY

日/SUN	月/MON	火/TUE	水/WED	木/THU	金/FRI	土/SAT
					1	2
					関東：生乳受託販売委員会 (13時30分、東京八重洲ホール)	
3	4	5	6	7	8	9
			近畿：第3回理事会 (大阪JAビル)		東北： 役員推せん会議 (11時)	
10	11	12	13	14	15	16
		東北： 第3回理事会 (11時)	東海：第78回理事会 (11時30分、アレックスビル)			
17	18	19	20	21	22	23
		近畿：第4回理事会・ 通常総会 (ニューオーサカホテル)			関東：生乳品質改善共励会 (11時、東京ガーデンパレス)、通常総会 (14時、同) 北陸：第2回理事会・通常総会 (13時、金沢市) 九州：第12回通常総会 (11時、ホテルセントラーザ博多)	
24/31	25	26	27	28	29	30
				全酪連：通常総会 (13時、グランドプリンスホテル新高輪) 全農：通常総会		
	中国：通常総会 (13時30分、メルパルク岡山)	東北：通常総会 (11時、ホテルメトロポリタン仙台) 東海：第12回通常総会 (11時30分、名鉄ニューグランドホテル) 四国：第11回通常総会 (10時30分、アルファあなぶきホール)				

DAIRY INFORMATION

酪農関係データ

1-a. 平成23年度3月分用途別販売実績（速報）

平成23年4月15日現在 社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	323,006	99.4 (99.4)	3,787,734	99.0 (99.0)
青森	4,761	76.1	68,877	95.5
岩手	13,486	71.9 (71.7)	204,904	95.2 (95.0)
宮城	5,812	49.0	125,290	90.5
秋田	2,308	84.6	29,982	93.4
山形	6,033	85.6	75,105	92.9
福島	3,111	38.0	86,267	91.4
東北生乳販連	35,511	64.7 (64.7)	590,424	93.3 (93.2)
茨城	6,424	41.7	156,699	90.0
栃木	23,377	86.2	299,110	93.8
群馬	19,744	95.4 (94.3)	226,634	96.4 (95.3)
埼玉	6,315	92.4	72,372	92.5
千葉	20,689	92.5	243,825	95.1
東京	963	92.9	10,794	92.0
神奈川	4,402	89.1	51,599	92.6
山梨	1,107	90.5	13,602	92.1
静岡	8,287	97.7	93,294	97.9
関東生乳販連	91,306	84.5 (84.3)	1,167,929	94.2 (94.0)
大島・八丈島	12	66.7	152	85.6
関東合計	91,318	84.5 (84.3)	1,168,082	94.2 (94.0)
新潟	5,213	93.0	60,654	93.5
富山	1,308	92.5	14,992	91.6
石川	2,038	96.1	22,631	94.2
福井	632	85.6	7,635	90.3
北陸酪連	9,191	93.0	105,912	93.1
長崎	9,535	95.2	112,767	95.0
岐阜	4,102	93.9	47,110	94.2
愛知	18,024	96.0	202,022	94.1
三重	4,310	100.0	48,406	99.1
東海酪連	35,971	96.0	410,305	94.9
滋賀	1,649	94.1	18,914	96.5
京都	2,201	89.9	25,641	92.4
大阪	1,056	94.6	12,406	94.5
兵庫	9,189	93.6	104,122	94.1
奈良	2,362	92.7	27,704	95.5
和歌山	441	96.4	4,490	99.7
近畿生乳販連	16,898	93.1	193,277	94.4
鳥取	5,224	94.7	60,059	96.0
島根	5,260	95.6	58,834	95.8
岡山	8,802	94.0	100,658	96.2
広島	4,815	91.9	56,800	95.7
山口	1,654	95.1	18,946	98.5
中国生乳販連	25,755	94.1	295,297	96.1
徳島	3,388	97.1	38,145	96.0
香川	3,193	101.7	35,258	101.8
愛媛	3,631	92.5	41,245	93.7
高知	2,208	93.7	24,937	94.4
四国生乳販連	12,420	96.2	139,586	96.4
福井	8,022	93.8	90,269	94.5
佐賀	1,846	88.7	21,511	92.7
長崎	4,423	92.3	48,682	94.1
熊本	21,023	97.5	234,008	98.2
大分	7,464	93.0	86,117	94.3
宮崎	7,023	84.6	75,696	82.1
鹿児島	8,214	94.5	87,090	96.4
九州生乳販連	58,015	93.6	643,374	94.3
都府県	285,080	86.2 (86.1)	3,546,256	94.3 (94.3)
合計	608,086	92.7 (92.7)	7,333,990	96.7 (96.7)

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	323,006	99.4	3,787,734	99.0
東北生乳販連	35,509	64.7	590,393	93.3
関東生乳販連	91,306	84.5	1,167,929	94.2
大島・八丈島	12	66.7	152	85.6
関東合計	91,318	84.5	1,168,082	94.2
北陸酪連	9,191	93.0	105,912	93.1
東海酪連	35,971	96.0	410,305	94.9
近畿生乳販連	16,898	93.1	193,277	94.4
中国生乳販連	25,755	94.1	295,297	96.1
四国生乳販連	12,420	96.2	139,586	96.4
九州生乳販連	58,015	93.6	643,374	94.3
都府県	285,079	86.2	3,546,225	94.4
合計	608,085	92.7	7,333,958	96.7

3) 飲用牛乳向

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	45,914	98.7	721,544	105.7
東北生乳販連	24,694	71.7	411,661	94.1
関東生乳販連	69,612	92.4	862,170	93.8
大島・八丈島	11	94.6	136	92.8
関東計	69,623	92.4	862,306	93.8
北陸酪連	8,787	95.8	100,549	93.2
東海酪連	29,837	101.3	340,705	95.6
近畿生乳販連	15,450	93.1	179,723	94.6
中国生乳販連	18,693	97.4	215,538	95.6
四国生乳販連	9,830	103.6	113,680	97.8
九州生乳販連	39,945	101.0	480,557	95.2
都府県	216,860	93.0	2,704,719	94.7
合計	262,773	93.9	3,426,263	96.8

4) はっ酵乳等向

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	4,090	78.5	57,503	90.4
東北生乳販連	3,094	59.6	67,149	103.0
関東生乳販連	11,725	78.2	173,721	99.0
大島・八丈島	0	18.9	3	91.7
関東計	11,725	78.2	173,723	99.0
北陸酪連	226	99.9	2,511	122.4
東海酪連	4,051	105.2	47,716	108.8
近畿生乳販連	1,122	96.4	12,530	95.3
中国生乳販連	4,567	101.4	55,337	103.2
四国生乳販連	1,304	91.0	15,624	95.2
九州生乳販連	5,512	108.2	63,666	99.6
都府県	31,600	86.7	438,256	101.1
合計	35,690	85.7	495,758	99.7

5) 特定乳製品向け

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	156,639	101.6	1,511,796	89.9
東北生乳販連	6,214	50.5	77,400	81.0
関東生乳販連	6,872	42.9	100,664	84.5
大島・八丈島	0	5.6	14	47.8
関東計	6,872	42.9	100,677	84.5
北陸酪連	96	23.1	2,020	65.4
東海酪連	1,631	43.1	16,820	62.4
近畿生乳販連	326	83.9	1,024	64.4
中国生乳販連	1,294	55.4	10,609	75.4
四国生乳販連	1,181	63.1	8,839	80.8
九州生乳販連	9,795	67.4	68,690	85.9
都府県	27,409	53.1	286,079	81.4
合計	184,048	89.4	1,797,875	88.4

6) 生クリーム等向け

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	76,081	95.4	1,036,881	107.7
東北生乳販連	1,321	53.4	29,751	100.0
関東生乳販連	3,046	176.5	30,526	117.8
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	3,046	176.5	30,526	117.8
北陸酪連	81	136.4	806	114.4
東海酪連	266	107.5	2,804	80.3
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	1,174	90.4	13,437	98.0
四国生乳販連	100	88.5	1,346	114.0
九州生乳販連	2,699	98.2	29,637	89.9
都府県	8,686	100.2	108,306	100.6
合計	84,767	95.9	1,145,187	107.0

7) チーズ向け

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	40,283	102.0	460,010	106.2
東北生乳販連	187	43.6	4,431	83.3
関東生乳販連	51	74.2	850	105.2
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	51	74.2	850	105.2
北陸酪連	2	183.5	26	115.9
東海酪連	187	127.4	2,260	150.7
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	26	80.4	375	129.2
四国生乳販連	5	75.7	98	104.2
九州生乳販連	64	80.5	824	94.1
都府県	523	68.3	8,865	99.5
合計	40,806	101.4	468,875	106.0

8) 全乳哺育向け

指定団体	3月		4-3月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	0	—	0	—
東北生乳販連	2	27.2	31	45.4
関東生乳販連	0	—	0	—
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	0	—	0	—
北陸酪連	0	—	0	—
東海酪連	0	—	0	—
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	0	—	0	—
四国生乳販連	0	—	0	—
九州生乳販連	0	—	0	—
都府県	2	27.2	31	45.4
合計	2	27.2	31	45.4

注1) この速報は、キログラム(kg)で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比。

注3) 東北・関東の3月分については、東日本大震災の影響により受託できなかった乳量、及び、原子力発電所事故の影響により出荷できなかった乳量は含まれていません。

1-b. 平成23年度4月分用途別販売実績（速報）

平成23年5月13日現在 社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	314,714	99.5	314,714	99.5
青森	5,431	90.0	5,431	90.0
岩手	15,813	87.9	15,813	87.9
宮城	9,322	81.4	9,322	81.4
秋田	2,443	92.0	2,443	92.0
山形	6,148	90.2	6,148	90.2
福島	2,375	29.6	2,375	29.6
東北生乳販連	41,533	78.4	41,533	78.4
茨城	8,467	56.9	8,467	56.9
栃木	25,204	95.8	25,204	95.8
群馬	19,499	96.2	19,499	96.2
埼玉	6,295	95.3	6,295	95.3
千葉	20,537	94.9	20,537	94.9
東京都	926	92.2	926	92.2
神奈川県	4,330	89.9	4,330	89.9
山梨県	1,107	91.3	1,107	91.3
静岡県	8,243	99.2	8,243	99.2
関東生乳販連	94,607	90.1	94,607	90.1
大島・八丈島	11	67.3	11	67.3
関東合計	94,618	90.1	94,618	90.1
新潟	5,124	94.2	5,124	94.2
富山	1,298	94.2	1,298	94.2
石川	1,991	95.9	1,991	95.9
福井	626	88.7	626	88.7
北陸酪連	9,039	94.2	9,039	94.2
長野	9,327	96.2	9,327	96.2
岐阜	3,959	94.5	3,959	94.5
愛知	17,725	96.9	17,725	96.9
三重	4,257	98.3	4,257	98.3
東海酪連	35,269	96.6	35,269	96.6
滋賀	1,630	94.6	1,630	94.6
京都	2,181	91.1	2,181	91.1
大阪	1,041	95.2	1,041	95.2
兵庫	8,909	93.5	8,909	93.5
奈良	2,343	94.0	2,343	94.0
和歌山	422	96.4	422	96.4
近畿生乳販連	16,526	93.5	16,526	93.5
鳥取	5,170	96.5	5,170	96.5
島根	5,160	97.0	5,160	97.0
岡山	8,710	95.2	8,710	95.2
広島	4,756	94.0	4,756	94.0
山口	1,620	97.7	1,620	97.7
中国生乳販連	25,415	95.7	25,415	95.7
徳島	96.9	3,365	96.9	3,365
香川	3,126	101.9	3,126	101.9
愛媛	3,576	94.1	3,576	94.1
高知	2,182	96.4	2,182	96.4
四国生乳販連	12,249	97.2	12,249	97.2
福岡	7,881	96.0	7,881	96.0
佐賀	1,801	89.2	1,801	89.2
長崎	4,188	93.3	4,188	93.3
熊本	20,606	98.3	20,606	98.3
大分	7,340	93.6	7,340	93.6
宮崎	6,926	86.6	6,926	86.6
鹿児島	7,782	96.0	7,782	96.0
九州生乳販連	56,523	94.8	56,523	94.8
都府県	90.8	291,171	90.8	291,171
合計	605,885	95.2	605,885	95.2

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	314,714	99.5	314,714	99.5
東北生乳販連	41,532	78.4	41,532	78.4
関東生乳販連	94,607	90.1	94,607	90.1
大島・八丈島	11	67.3	11	67.3
関東合計	94,618	90.1	94,618	90.1
北陸酪連	9,039	94.2	9,039	94.2
東海酪連	35,269	96.6	35,269	96.6
近畿生乳販連	16,526	93.5	16,526	93.5
中国生乳販連	25,415	95.7	25,415	95.7
四国生乳販連	12,249	97.2	12,249	97.2
九州生乳販連	56,523	94.8	56,523	94.8
都府県	291,170	90.8	291,170	90.8
合計	605,884	95.2	605,884	95.2

3) 飲用牛乳向

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	56,318	119.2	56,318	119.2
東北生乳販連	30,648	89.9	30,648	89.9
関東生乳販連	72,140	99.0	72,140	99.0
大島・八丈島	11	85.0	11	85.0
関東計	72,151	99.0	72,151	99.0
北陸酪連	8,668	96.7	8,668	96.7
東海酪連	29,674	100.5	29,674	100.5
近畿生乳販連	15,416	95.2	15,416	95.2
中国生乳販連	18,203	97.8	18,203	97.8
四国生乳販連	10,388	109.3	10,388	109.3
九州生乳販連	40,960	105.3	40,960	105.3
都府県	226,107	98.9	226,107	98.9
合計	282,425	102.4	282,425	102.4

4) はっ酵乳等向

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	5,661	116.8	5,661	116.8
東北生乳販連	3,405	63.5	3,405	63.5
関東生乳販連	14,063	96.0	14,063	96.0
大島・八丈島	0	28.2	0	28.2
関東計	14,063	96.0	14,063	96.0
北陸酪連	229	101.9	229	101.9
東海酪連	3,950	98.6	3,950	98.6
近畿生乳販連	1,018	82.6	1,018	82.6
中国生乳販連	4,856	103.6	4,856	103.6
四国生乳販連	1,241	89.9	1,241	89.9
九州生乳販連	5,850	116.8	5,850	116.8
都府県	34,610	94.7	34,610	94.7
合計	40,271	97.3	40,271	97.3

5) 特定乳製品向け

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	128,373	88.4	128,373	88.4
東北生乳販連	6,114	56.3	6,114	56.3
関東生乳販連	6,077	41.5	6,077	41.5
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	6,077	41.5	6,077	41.5
北陸酪連	60	17.0	60	17.0
東海酪連	1,131	44.0	1,131	44.0
近畿生乳販連	93	38.9	93	38.9
中国生乳販連	1,159	58.8	1,159	58.8
四国生乳販連	523	32.9	523	32.9
九州生乳販連	6,841	52.6	6,841	52.6
都府県	21,996	48.6	21,996	48.6
合計	150,370	79.0	150,370	79.0

6) 生クリーム等向け

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	86,720	106.7	86,720	106.7
東北生乳販連	1,151	52.6	1,151	52.6
関東生乳販連	2,269	80.5	2,269	80.5
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	2,269	80.5	2,269	80.5
北陸酪連	81	138.3	81	138.3
東海酪連	297	133.2	297	133.2
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	1,171	94.7	1,171	94.7
四国生乳販連	91	68.9	91	68.9
九州生乳販連	2,804	106.9	2,804	106.9
都府県	7,865	84.7	7,865	84.7
合計	94,584	104.5	94,584	104.5

7) チーズ向け

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	37,642	100.1	37,642	100.1
東北生乳販連	214	46.7	214	46.7
関東生乳販連	58	77.4	58	77.4
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	58	77.4	58	77.4
北陸酪連	1	45.1	1	45.1
東海酪連	218	118.1	218	118.1
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	27	83.6	27	83.6
四国生乳販連	5	144.4	5	144.4
九州生乳販連	69	79.6	69	79.6
都府県	592	70.3	592	70.3
合計	38,234	99.4	38,234	99.4

8) 全乳哺育向け

指定団体	4月		4-4月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	0	—	0	—
東北生乳販連	1	18.2	1	18.2
関東生乳販連	0	—	0	—
大島・八丈島	0	—	0	—
関東計	0	—	0	—
北陸酪連	0	—	0	—
東海酪連	0	—	0	—
近畿生乳販連	0	—	0	—
中国生乳販連	0	—	0	—
四国生乳販連	0	—	0	—
九州生乳販連	0	—	0	—
都府県	1	18.2	1	18.2
合計	1	18.2	1	18.2

注1) この速報は、キログラム(kg)で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

2. 計画生産の取り組み状況

単位：t

	計画生産目標数量 ①	実績数量												計画生産残量 ③=①-②	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計②
北海道	3,829,894	316,139	333,806	331,347	331,829	320,887	306,175	309,000	295,648	311,800	317,440	290,657	323,006	3,787,734	42,160
前年比(%)	100.1	99.5	98.9	100.6	100.3	98.8	98.6	98.1	97.9	98.6	98.5	99.3	99.4	99.0	—
東北	617,672	52,969	54,297	52,134	52,239	49,918	47,993	49,682	47,761	50,186	50,723	47,012	35,511	590,424	27,248
前年比(%)	97.6	97.5	96.9	97.9	97.2	95.4	94.6	95.5	94.7	95.3	94.8	95.6	64.7	93.3	—
関東	1,203,747	105,054	108,218	102,274	100,005	95,067	91,267	95,478	92,456	96,801	98,897	91,246	91,318	1,168,082	35,665
前年比(%)	97.0	95.5	96.0	97.6	96.6	94.3	92.7	94.5	94.2	94.5	95.0	94.9	84.5	94.2	—
北陸	112,526	9,600	9,810	9,372	9,278	8,531	8,088	8,526	8,100	8,498	8,736	8,181	9,191	105,912	6,614
前年比(%)	98.9	94.3	95.2	96.7	96.8	92.3	90.1	92.7	90.4	90.8	91.7	92.6	93.0	93.1	—
東海	423,764	36,502	37,501	35,338	34,454	32,799	31,552	33,665	32,609	33,757	34,404	31,752	35,971	410,305	13,459
前年比(%)	98.0	95.2	96.0	96.8	95.7	94.0	91.3	94.9	94.0	94.2	95.5	95.0	96.0	94.9	—
近畿	201,702	17,667	17,953	16,934	16,480	15,304	14,743	15,472	15,083	15,785	15,995	14,963	16,898	193,277	8,425
前年比(%)	98.5	95.9	96.3	98.2	97.6	93.5	91.8	93.6	93.5	92.4	93.3	93.3	93.1	94.4	—
中国	300,565	26,544	26,992	25,566	25,125	23,697	22,987	24,136	23,265	24,090	24,458	22,682	25,755	295,297	5,268
前年比(%)	97.8	98.6	98.5	101.0	100.1	96.0	94.2	95.9	94.5	93.9	93.1	93.2	94.1	96.1	—
四国	142,019	12,605	12,793	11,868	11,621	10,941	10,611	11,342	11,064	11,583	11,771	10,966	12,420	139,586	2,433
前年比(%)	98.1	96.0	96.9	98.5	99.7	96.9	94.2	96.5	95.7	95.4	95.1	95.6	96.2	96.4	—
九州	667,081	59,626	60,207	54,905	53,040	49,989	48,500	51,426	50,226	52,966	53,777	50,698	58,015	643,374	23,707
前年比(%)	97.7	97.2	97.1	96.2	96.6	94.4	91.6	93.4	92.3	92.8	92.2	93.2	93.6	94.3	—
都府県	3,669,077	320,567	327,771	308,391	302,242	286,247	275,742	289,727	280,564	293,666	298,761	277,500	285,080	3,546,256	122,821
前年比(%)	97.6	96.4	96.6	97.6	97.1	94.6	92.7	94.6	93.8	94.1	94.2	94.4	86.2	94.3	—
合計	7,498,971	636,705	661,577	639,738	634,071	607,134	581,916	598,728	576,212	605,465	616,201	568,157	608,086	7,333,990	164,981
前年比(%)	98.9	97.9	97.7	99.1	98.7	96.8	95.7	96.4	95.9	96.4	96.4	96.9	92.7	96.7	—

注) 前年比は、前年実績との比率。

3. 用途別販売実績の過去の推移

(1) 実績数量

単位：千 t

	総受託乳量 ①=②+⑨	販売乳量計 ②=⑦+⑧	飲用牛乳向 ③	はっ酵乳等向 ④	特定乳製品向 ⑤	生クリーム等向 ⑥	計画生産枠内 ⑦=③+④+ ⑤+⑥	チーズ向 ⑧	全乳 哺育向 ⑨
19年度	7,694.1	7,694.0	3,810.5	520.4	1,961.1	1,023.8	7,315.0	379.0	0.1
20年度	7,625.9	7,625.9	3,745.4	489.1	1,844.2	1,105.9	7,184.7	441.2	0.1
21年度	7,582.9	7,582.8	3,539.8	497.2	2,033.0	1,070.6	7,140.6	442.2	0.1
22年度	7,333.9	7,333.9	3,426.3	495.8	1,797.9	1,145.1	6,865.0	468.9	0.0
21.4	650.5	650.5	295.0	43.4	186.7	90.2	615.2	35.3	0.0
5	677.0	677.0	309.2	44.6	191.0	94.5	639.2	37.7	0.0
6	645.2	645.2	315.5	42.9	162.2	89.8	610.4	34.9	0.0
7	642.4	642.3	309.8	43.2	162.5	94.0	609.5	32.9	0.0
8	627.4	627.4	290.3	43.0	169.2	91.6	594.0	33.4	0.0
9	608.0	608.0	317.8	41.4	128.0	89.4	576.5	31.5	0.0
10	621.2	621.2	310.3	41.3	135.6	93.9	581.1	40.1	0.0
11	601.0	601.0	290.4	40.3	141.5	89.9	561.9	39.1	0.0
12	628.4	628.4	273.6	39.4	182.0	94.2	589.2	39.2	0.0
22.1	639.5	639.4	280.0	39.4	200.7	78.6	598.6	40.8	0.0
2	586.6	586.5	268.2	36.8	168.1	76.4	549.5	37.1	0.0
3	655.8	655.8	279.7	41.7	205.8	88.4	615.5	40.2	0.0
22.4	636.7	636.7	276	41.4	190.4	90.5	598.2	38.4	0.0
5	661.6	661.6	297.5	44.3	184.3	96.1	622.2	39.4	0.0
6	639.7	639.7	306.1	44.6	154.4	93.1	598.2	41.6	0.0
7	634.1	634.1	300.7	44.9	146.7	99.1	591.4	42.7	0.0
8	607.1	607.1	285.9	44.3	135.2	99.4	564.9	42.3	0.0
9	581.9	581.9	315.0	41.8	91.3	98.8	546.9	35.0	0.0
10	598.7	598.7	301.4	43.2	114.5	105.3	564.5	34.3	0.0
11	576.2	576.2	283.0	40.9	119.3	100.3	543.4	32.8	0.0
12	605.5	605.5	266.7	39.5	158.8	102.4	567.4	38.1	0.0
23.1	616.2	616.2	269.3	38.8	176.2	88.0	572.3	43.9	0.0
2	568.2	568.2	261.9	36.4	142.7	87.4	528.5	39.7	0.0
3	608.1	608.1	262.8	35.7	184.0	84.8	567.3	40.8	0.0
23.4	605.9	605.9	282.4	40.3	150.4	94.6	567.6	38.2	0.0

(2) 前年同月比

単位：%

	総受託乳量 ①=②+⑨	販売乳量計 ②=⑦+⑧	飲用牛乳向 ③	はっ酵乳等向 ④	特定乳製品向 ⑤	生クリーム等向 ⑥	計画生産枠内 ⑦=③+④+ ⑤+⑥	チーズ向 ⑧	全乳 哺育向 ⑨
19年度	99.3	99.3	96.8	106.0	96.5	107.8	98.7	111.9	95.0
20年度	99.1	99.1	98.3	94.0	94.0	108.0	98.2	116.4	99.4
21年度	99.4	99.4	94.5	101.7	110.2	96.8	99.4	100.2	100.0
22年度	96.7	96.7	96.8	99.7	88.4	107.0	96.1	106.0	45.4
21.4	99.2	99.2	96.1	103.4	103.6	106.8	100.3	83.8	100.0
5	99.0	99.0	95.0	102.3	104.0	108.3	99.9	86.7	100.0
6	99.3	99.3	96.1	100.7	107.1	102.4	100.1	87.4	100.0
7	100.1	100.1	94.0	98.4	118.8	101.4	101.1	85.2	100.0
8	100.1	100.1	91.8	98.5	125.8	95.0	100.5	93.1	100.0
9	100.8	100.8	93.5	102.0	139.6	92.0	101.3	92.9	100.0
10	99.8	99.8	95.2	103.0	114.2	92.9	99.2	109.7	100.0
11	99.7	99.7	93.5	104.8	116.1	92.4	98.9	112.8	100.0
12	99.1	99.1	93.7	104.0	106.8	95.6	98.4	110.1	100.0
22.1	98.6	98.6	94.2	104.4	103.6	91.7	97.4	120.5	100.0
2	98.8	98.8	94.4	101.2	105.6	91.1	97.5	121.5	100.0
3	98.8	98.8	96.8	98.3	101.7	94.1	98.1	111.5	100.0
22.4	97.9	97.9	93.5	95.4	102.0	100.3	97.2	108.9	100.0
5	97.7	97.7	96.2	99.3	96.5	101.7	97.3	104.3	42.1
6	99.1	99.1	97.0	104.0	95.2	103.7	98.0	119.2	42.1
7	98.7	98.7	97.1	103.8	90.3	105.4	97.0	129.8	40.7
8	96.8	96.8	98.5	103.1	79.9	108.5	95.1	126.5	42.1
9	95.7	95.7	99.1	101.1	71.3	110.6	94.9	111.2	42.1
10	96.4	96.4	97.1	104.7	84.5	112.2	97.1	85.4	42.1
11	95.9	95.9	97.5	101.6	84.3	111.6	96.7	84.0	42.1
12	96.4	96.4	97.5	100.2	87.2	108.8	96.3	97.2	40.7
23.1	96.4	96.4	96.2	98.5	87.8	112.0	95.6	107.5	42.1
2	96.9	96.9	97.7	99.0	84.9	114.4	96.2	107.0	42.1
3	92.7	92.7	93.9	85.7	89.4	95.9	92.2	101.4	27.2
23.4	95.2	95.2	102.4	97.3	79.0	104.5	94.9	99.4	18.2

資料：中央酪農会議「用途別販売実績」

4. 生乳生産量及び用途別処理量の推移（全国）

単位：千ト、%

区分	用途別処理量														
	生乳生産量			牛乳等向け			うち業務用			乳製品向け			うち		
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
19年度	8,024.3	99.2	4,509.1	97.6	329.3	106.2	3,432.1	101.3	410.6	—	1,044.9	—	83.1	101.9	
20年度	7,945.1	99.0	4,414.8	97.9	338.7	102.8	3,450.7	100.5	473.6	115.3	1,105.3	105.9	79.6	95.9	
21年度	7,881.4	99.2	4,218.6	95.6	332.8	98.3	3,586.8	103.9	465.4	98.3	1,088.9	98.5	76.0	95.5	
22年度	7,630.8	96.8	4,109.5	97.4	299.9	90.1	3,450.9	96.2	497.6	106.9	1,161.7	106.7	70.3	92.5	
21.4	675.1	98.8	353.0	97.2	27.0	101.0	316.1	100.9	37.7	83.1	91.2	107.5	5.9	86.0	
5	701.8	98.8	370.6	96.5	25.5	104.1	324.9	101.7	38.7	81.8	94.4	107.6	6.2	89.1	
6	669.0	99.0	373.4	97.1	24.7	102.0	289.4	101.6	37.0	86.5	90.1	102.4	6.2	92.1	
7	667.8	99.8	370.1	95.2	24.9	97.4	291.2	106.5	34.9	85.0	94.2	101.4	6.4	94.6	
8	652.5	99.8	347.1	93.3	25.7	97.2	298.8	108.7	35.4	90.3	91.8	95.7	6.5	95.1	
9	632.0	100.5	372.7	94.5	31.6	102.1	252.8	111.1	33.0	92.1	90.0	93.9	6.5	92.8	
10	646.1	99.4	366.8	95.9	32.1	101.2	272.5	104.7	42.5	109.7	96.2	96.4	6.8	99.3	
11	625.7	99.7	345.1	95.1	31.3	95.6	274.0	106.3	41.3	112.3	92.7	96.6	6.7	97.3	
12	655.6	99.1	329.2	94.9	29.0	93.7	320.0	103.9	42.0	109.0	96.4	98.8	6.5	98.2	
22.1	664.0	98.4	333.5	95.1	26.8	94.7	324.4	101.9	43.5	118.9	81.6	95.6	6.1	99.7	
2	609.7	98.6	318.4	95.0	25.6	88.8	285.4	103.0	39.1	119.3	77.7	91.3	5.9	101.8	
3	682.0	98.7	337.3	96.8	28.7	102.5	338.5	100.7	40.3	104.2	91.0	95.2	6.2	100.1	
22.4	661.3	98.0	334.0	94.6	24.1	89.3	321.4	101.7	38.2	101.3	91.3	100.1	5.9	99.5	
5	685.8	97.7	358.9	96.8	24.2	94.8	321.1	98.8	42.1	108.9	96.9	102.7	5.9	93.9	
6	663.4	99.2	365.1	97.8	23.9	96.8	292.4	101.0	44.0	119.0	94.6	105.0	5.8	94.0	
7	660.6	98.9	362.4	97.9	24.2	97.3	292.4	100.4	44.9	128.9	100.7	107.0	5.9	91.1	
8	631.8	96.8	344.3	99.2	24.8	96.7	281.3	94.1	44.3	125.2	100.8	109.8	6.2	94.8	
9	606.4	96.0	372.1	99.8	27.0	85.2	228.2	90.3	36.5	110.5	101.1	112.3	6.2	94.5	
10	623.2	96.5	359.7	98.0	28.5	88.8	257.3	94.4	36.2	85.1	106.6	110.8	6.3	91.9	
11	600.1	95.9	338.4	98.1	30.5	97.6	255.7	93.3	34.6	83.7	102.9	110.9	6.1	90.7	
12	632.1	96.4	324.3	98.5	28.1	97.0	301.8	94.3	40.4	96.3	105.4	109.3	6.0	92.3	
23.1	641.5	96.6	323.6	96.8	22.6	84.4	312.4	96.5	48.0	110.4	89.1	108.1	5.4	88.9	
2	591.5	97.0	312.6	98.0	22.0	86.2	273.5	96.0	43.6	111.3	87.7	111.8	5.3	90.8	
3	633.2	92.8	314.2	93.2	19.9	69.4	313.5	92.6	44.8	111.3	84.6	92.9	5.4	88.2	

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

注）牛乳等向け処理量、乳製品向け処理量は15年度以降新しい調査定義に基づいており、14年度以前の数値とは接続しない。

6. 飲用牛乳等生産量の推移

単位：kl、%

区分	飲用牛乳合計		牛乳		うち業務用		うち学校給食用		加工乳・成分調整牛乳		うち業務用		うち成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳		乳酸菌飲料	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
19年度	4,022,544	97.5	3,578,008	97.3	311,790	105.8	378,787	—	444,536	99.6	25,989	113.4	202,655	101.2	1,320,240	104.7	838,881	98.7	172,568	101.9
20年度	3,917,985	97.4	3,462,463	96.8	317,304	101.8	374,818	99.0	455,522	102.5	16,308	62.7	263,418	130.0	1,207,926	91.5	805,239	96.0	186,495	108.1
21年度	3,779,089	96.5	3,116,850	90.0	308,637	97.3	377,375	100.7	662,299	145.4	14,414	88.4	452,858	171.9	1,181,741	97.8	819,252	101.7	194,245	104.2
22年度	3,716,419	98.3	3,047,571	97.8	275,183	89.2	374,678	99.3	668,848	101.0	29,406	204.0	425,758	94.0	1,212,696	102.6	836,912	102.2	179,561	92.4
21.3	3,077,997	96.3	2,627,571	92.4	255,529	93.1	250,091	105.8	45,494	127.0	1,001	49.2	28,908	151.7	91,225	88.9	68,417	96.9	16,771	116.9
21.4	3,111,154	96.7	2,607,943	91.2	24,008	94.2	30,415	104.0	50,211	141.8	545	30.1	35,287	173.3	93,755	93.3	71,266	100.5	18,563	129.6
5	3,277,889	96.7	2,716,880	89.8	23,100	98.6	34,562	91.3	56,109	153.4	551	32.7	40,149	188.5	102,422	95.9	73,975	100.8	18,845	109.2
6	3,314,669	97.7	2,751,165	90.9	23,179	102.2	43,050	104.3	56,304	153.4	698	44.4	40,522	185.8	102,811	97.2	75,062	104.3	19,802	118.7
7	3,258,843	94.5	2,658,779	87.2	23,169	96.2	24,617	94.6	59,964	150.5	1,111	66.4	43,365	178.0	109,321	93.5	78,094	108.5	21,229	122.1
8	3,084,432	96.2	2,469,943	87.9	24,101	99.3	4,017	121.0	61,489	154.4	1,087	65.0	42,458	172.8	114,752	100.6	69,826	103.8	17,593	103.1
9	3,349,976	95.0	2,756,744	88.0	29,654	102.2	37,061	98.7	59,302	151.3	1,496	93.9	40,993	179.0	111,451	97.4	68,994	100.9	16,191	98.3
10	3,331,126	96.3	2,749,933	89.5	30,071	100.0	37,363	94.2	58,193	151.3	1,798	165.4	39,344	180.4	105,705	98.3	69,836	101.8	14,635	89.4
11	3,126,626	96.9	2,593,340	90.3	28,969	94.7	36,617	102.6	53,286	149.7	1,570	154.1	34,937	160.7	91,274	98.1	63,194	104.2	13,584	102.6
12	3,021,198	96.0	2,501,108	89.8	27,564	93.8	32,107	106.7	52,090	143.3	1,972	138.4	32,811	157.3	87,731	96.4	58,942	98.9	12,926	104.1
22.1	2,995,540	96.6	2,472,251	90.7	25,149	96.3	30,821	98.8	52,289	139.7	949	111.4	34,005	153.1	87,536	101.5	61,042	97.6	12,986	91.9
2	2,899,039	96.8	2,399,950	90.9	23,132	88.1	38,325	102.5	49,089	141.9	1,030	117.8	33,109	158.2	81,669	98.4	59,930	97.9	12,570	87.5
3	3,024,466	98.2	2,488,545	94.7	26,551	104.0	27,814	110.9	53,921	118.5	1,607	160.5	35,663	123.4	93,447	102.4	69,064	100.9	15,326	91.4
22.4	3,017,743	97.0	2,467,020	94.3	22,224	92.6	31,042	102.1	55,723	111.0	2,702	495.8	35,606	100.9	95,090	101.4	74,009	103.8	17,426	93.9
5	3,221,128	98.3	2,634,442	97.0	22,003	95.3	37,580	108.7	58,686	104.6	2,521	457.5	36,647	91.3	104,114	101.7	77,569	104.9	16,656	88.4
6	3,288,668	99.2	2,701,150	98.2	21,813	94.1	43,178	100.3	58,518	103.9	2,053	294.1	37,637	92.9	107,002	104.1	77,199	102.8	17,259	87.2
7	3,249,994	99.7	2,621,110	98.6	21,794	94.1	23,818	96.8	62,884	104.9	1,748	157.3	40,831	94.2	114,286	104.5	76,802	98.3	17,487	82.4
8	3,079,966	99.8	2,454,493	99.4	22,478	93.3	4,448	110.7	62,473	101.6	1,883	173.2	40,633	95.7	116,949	101.9	71,973	103.1	17,534	99.7
9	3,340,015	99.7	2,739,946	99.4	24,528	82.7	37,526	101.3	60,069	101.3	1,947	130.1	38,646	94.3	114,384	102.6	70,302	101.9	16,766	103.6
10	3,283,316	98.6	2,699,969	98.2	26,275	87.4	37,896	101.4	58,347	100.3	2,565	142.7	36,872	93.7	109,379	103.5	73,366	105.1	14,394	98.4
11	3,109,910	99.5	2,571,162	99.2	27,638	95.4	38,583	105.4	53,748	100.9	2,808	178.9	33,837	96.9	95,214	104.3	66,620	105.4	13,129	96.7
12	2,967,722	98.2	2,447,791	97.9	25,651	93.1	30,935	96.3	51,931	99.7	3,714	188.3	32,214	98.2	91,009	103.7	63,085	107.0	12,307	95.2
23.1	2,900,020	96.7	2,391,117	96.5	20,959	83.4	30,222	96.5	50,903	97.4	2,620	276.1	32,673	95.8	90,167	103.0	65,246	106.8	12,953	99.8
2	2,842,284	98.4	2,362,254	98.5	20,987	90.7	35,972	93.6	48,030	97.8	2,330	226.2	30,210	90.9	85,907	105.4	65,300	109.0	12,120	96.4
3	2,866,653	94.8	2,391,117	96.2	18,833	70.9	23,478	84.4	47,536	88.2	2,515	156.5	29,952	84.0	89,195	95.4	55,441	80.3	11,530	75.2

資料：農林水産省「牛乳製品統計」

単位：ト、%

7. 主要乳製品生産量の動向

区分	バター		脱脂粉乳		クリーム		練乳類		全粉乳		チーズ		うち直消費 ナチュラルチーズ		アイス クリーム		調整粉乳	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
19年度	75,058	96.2	171,441	96.8	104,156	106.4	43,598	100.8	13,825	99.6	125,763	101.3	18,276	112.3	132	99.9	30,561	102.8
20年度	71,898	95.8	155,282	90.6	107,521	103.2	45,475	104.3	13,573	98.2	116,877	92.9	20,204	110.6	124	93.5	30,591	100.1
21年度	81,972	114.0	170,179	109.6	103,663	96.4	43,587	95.8	12,010	88.5	122,997	105.2	19,729	97.7	128	103.3	35,829	117.1
22年度	70,119	85.5	148,786	87.4	107,965	104.2	41,761	95.8	14,242	118.6	127,029	103.3	19,857	100.6	132	103.3	32,015	89.4
21.3	8,243	109.6	16,576	101.3	9,256	100.3	4,259	106.9	1,351	89.0	9,869	99.6	1,395	80.2	10	100.4	2,644	96.7
21.4	7,627	107.6	15,213	100.4	8,598	102.1	4,128	103.7	1,363	90.8	11,137	99.3	1,370	78.3	11	99.6	3,248	124.0
5	7,756	107.6	15,321	101.9	8,533	101.3	4,441	100.9	1,223	81.8	9,345	97.6	1,405	89.6	12	108.0	2,647	114.9
6	6,776	111.8	13,167	106.4	7,865	95.5	3,884	98.0	947	71.5	9,653	102.2	1,351	79.2	13	111.2	3,640	146.1
7	6,382	123.0	12,925	114.0	8,306	97.8	3,702	108.3	1,086	116.0	9,871	101.5	1,302	77.5	13	100.2	3,296	110.7
8	6,766	133.8	13,451	122.1	8,211	94.5	3,463	87.2	1,270	119.0	9,361	113.6	1,447	88.9	13	100.0	2,158	105.9
9	5,206	140.3	10,749	134.6	8,266	94.2	3,190	139.8	444	119.7	10,376	106.4	1,891	108.8	11	99.1	3,179	130.4
10	5,386	121.8	11,867	113.1	9,145	93.8	3,164	96.8	539	71.1	11,555	110.3	2,235	116.4	12	114.7	3,236	107.5
11	5,602	126.4	12,449	113.3	9,328	95.1	2,892	99.3	805	86.8	11,593	113.5	2,235	120.9	11	117.5	2,978	112.5
12	7,081	112.2	16,931	107.8	10,452	97.5	3,633	84.0	495	62.0	11,514	109.6	1,940	95.3	9	93.7	3,040	118.1
22.1	8,215	104.4	16,571	106.1	8,037	94.7	3,991	87.3	1,499	85.5	8,929	102.0	1,616	105.6	6	95.4	2,872	99.4
2	6,736	106.5	14,051	107.3	7,939	93.9	3,289	78.7	1,268	98.3	8,927	98.1	1,324	94.3	7	88.7	2,460	125.5
3	8,440	102.4	17,482	105.5	8,983	97.1	3,810	89.5	1,073	79.4	10,737	108.8	1,614	115.7	10	102.2	3,075	116.3
22.4	7,764	101.8	15,939	104.8	8,793	102.3	4,216	102.1	1,209	88.7	11,730	105.3	1,788	130.5	12	103.3	3,027	93.2
5	7,359	94.9	15,040	98.2	8,885	104.1	4,223	95.1	1,322	108.1	10,105	108.1	1,636	116.4	12	102.0	2,537	95.9
6	6,051	89.3	12,091	91.8	8,258	105.0	3,859	99.4	1,433	151.3	10,608	109.9	1,513	112.0	14	105.4	2,944	80.9
7	5,613	88.0	11,496	88.9	8,649	104.1	3,225	87.1	1,298	119.6	10,720	108.6	1,602	123.1	13	106.7	2,615	79.3
8	5,152	76.1	10,614	78.9	8,415	102.5	3,020	87.2	1,046	82.4	9,575	102.3	1,419	98.0	13	104.7	2,126	98.6
9	3,386	65.0	7,381	68.7	8,645	104.6	2,286	71.7	773	174.3	10,610	102.3	1,573	83.2	13	115.0	2,901	91.3
10	4,454	82.7	9,673	81.5	9,867	107.9	2,886	91.2	900	167.0	10,626	92.0	1,725	77.2	12	96.0	3,004	92.8
11	4,697	83.9	10,746	86.3	9,992	107.1	3,088	106.8	644	80.0	11,346	97.9	1,609	72.0	10	92.2	3,178	106.7
12	5,755	81.3	14,540	85.9	10,978	105.0	3,841	105.7	785	158.6	11,051	96.0	1,757	90.6	8	98.3	2,201	72.4
23.1	7,141	86.9	14,198	85.7	8,571	106.7	4,237	106.2	1,665	111.0	9,717	108.8	1,925	119.1	7	121.1	2,133	74.3
2	5,566	82.6	11,632	82.8	8,512	107.2	3,772	114.7	1,477	116.5	10,139	113.6	1,674	126.5	8	107.3	2,848	115.7
3	7,180	85.1	15,435	88.3	8,400	93.5	3,109	81.6	1,691	157.6	10,802	100.6	1,636	101.4	10	95.5	2,499	81.3

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

8. 乳製品需給の動向

(1) 脱脂粉乳

単位：千 t、%

	生産量		輸入売渡し	消費量		過不足	在庫量	
	前年比			前年比			民間在庫量	前年比
19年度	171.4	96.8	0.0	197.0	105.3	-25.5	42.8	62.6
20年度	155.3	90.6	0.0	155.0	78.7	0.3	43.1	100.7
21年度	170.2	109.6	6.1	149.7	96.6	26.6	69.7	161.7
22年度	148.8	87.4	1.0	160.8	107.4	-11.0	58.7	84.2
21.3	16.6	101.3	0.0	12.2	75.4	4.3	43.1	100.7
21.4	15.2	100.3	0.4	12.2	83.6	3.4	46.5	107.2
5	15.3	101.9	2.2	12.5	82.5	5.1	51.6	119.1
6	13.2	106.4	2.2	12.4	91.8	2.9	54.4	129.3
7	12.9	114.0	1.4	14.2	94.5	0.1	54.5	142.0
8	13.5	122.1	0.0	13.0	89.9	0.5	55.0	157.2
9	10.7	134.6	0.0	12.2	93.3	-1.4	53.6	179.1
10	11.9	113.1	0.0	12.5	97.6	-0.6	52.9	191.9
11	12.4	113.3	0.0	11.5	101.8	0.9	53.8	197.6
12	16.9	107.8	0.0	12.4	100.3	4.5	58.3	191.0
22.1	16.6	106.8	0.0	9.8	98.8	6.8	65.1	180.1
2	14.1	107.3	0.0	11.5	109.7	2.5	67.7	174.6
3	17.5	105.5	0.0	15.5	126.4	2.0	69.7	161.7
22.4	15.9	104.8	0.0	13.8	113.3	2.1	71.8	154.5
5	15.0	98.2	0.0	12.1	96.8	3.0	74.8	145.1
6	12.1	91.8	0.1	12.9	103.7	-0.7	74.0	136.0
7	11.5	88.9	0.5	15.0	105.5	-3.1	71.0	130.2
8	10.6	78.9	0.0	13.4	103.3	-2.8	68.2	124.0
9	7.4	68.7	0.4	14.5	119.3	-6.8	61.4	114.7
10	9.7	81.5	0.0	13.5	107.8	-3.8	57.6	108.9
11	10.7	86.3	0.0	12.1	105.0	-1.3	56.3	104.6
12	14.5	85.9	0.0	13.5	108.5	1.0	57.3	98.3
23.1	14.2	85.7	0.0	10.9	111.3	3.3	60.7	93.2
2	11.6	82.8	0.0	11.7	101.6	-0.1	60.6	89.6
3	15.4	88.3	0.0	17.4	112.4	-1.9	58.7	84.2

注) 19年1月分以降は牛乳製品統計(調査対象が拡大しているため、データの連続性に注意されたい)。

単位：千t、%

(2) バター

合計	参考 (品目別バター在庫量)									
	業務用					家庭用				
	バラ		その他			バラ		その他		
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
19年度	17.9	83.7	12.2	75.4	4.4	107.8	1.2	118.7	1.2	118.7
20年度	26.5	148.2	19.9	163.4	5.1	114.5	1.4	118.3	1.4	118.3
21年度	30.8	116.3	24.3	122.0	5.0	98.4	1.4	100.1	1.4	100.1
22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21.3	26.5	148.2	19.9	163.4	5.1	114.5	1.4	118.3	1.4	118.3
21.4	28.2	158.6	22.0	184.7	5.0	112.5	1.1	82.1	1.1	82.1
5	30.7	162.8	24.1	197.2	5.5	109.5	1.1	69.7	1.1	69.7
6	32.2	169.7	25.0	206.9	5.7	106.9	1.4	93.8	1.4	93.8
7	32.5	174.0	25.4	215.9	5.6	102.7	1.5	103.1	1.5	103.1
8	33.5	167.6	25.8	200.1	6.0	108.9	1.7	106.5	1.7	106.5
9	32.9	159.7	25.7	180.0	5.6	119.9	1.6	97.5	1.6	97.5
10	31.6	152.5	24.7	170.5	5.3	120.3	1.7	89.6	1.7	89.6
11	30.0	155.6	23.5	173.3	4.8	126.8	1.8	89.5	1.8	89.5
12	28.3	140.2	23.1	150.2	3.9	113.7	1.2	93.9	1.2	93.9
22.1	31.1	129.0	24.3	140.2	4.8	98.3	2.1	107.6	2.1	107.6
2	31.1	123.1	24.8	135.1	4.9	94.4	1.4	81.9	1.4	81.9
3	30.8	116.3	24.3	122.0	5.0	98.4	1.4	100.1	1.4	100.1
22.4	30.8	109.2	24.5	111.4	4.6	91.6	1.6	144.1	1.6	144.1
5	32.3	105.3	25.1	104.5	5.5	99.8	1.7	147.6	1.7	147.6
6	32.6	101.3	24.8	99.2	6.1	106.0	1.7	118.6	1.7	118.6
7	31.9	98.2	23.9	94.1	6.2	111.0	1.8	121.2	1.8	121.2
8	31.4	93.6	23.1	89.3	6.3	104.8	2.0	119.4	2.0	119.4
9	28.9	87.9	21.7	84.4	5.4	96.9	1.8	112.2	1.8	112.2
10	26.5	84.0	19.9	80.7	4.9	93.3	1.7	102.3	1.7	102.3
11	23.7	79.1	18.0	76.5	4.0	83.8	1.8	100.7	1.8	100.7
12	20.5	72.3	16.2	70.2	3.1	78.4	1.1	91.7	1.1	91.7
23.1	21.9	70.5	15.7	64.6	4.4	92.0	1.9	90.6	1.9	90.6
2	20.5	65.9	14.7	59.2	4.4	88.9	1.5	102.9	1.5	102.9

	生産量					消費量					過不足			在庫量	
	前年比		輸入売渡し			消費量			前年比		過不足			民間在庫量	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
19年度	75.1	96.2	12.2	91.1	101.8	-3.7	19.2	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	
20年度	71.9	95.8	14.5	77.5	85.0	8.9	28.1	146.1	146.1	146.1	146.1	146.1	146.1	146.1	
21年度	82.0	114.0	0.0	77.5	100.0	4.5	32.6	116.0	116.0	116.0	116.0	116.0	116.0	116.0	
22年度	70.1	85.5	1.6	83.7	108.0	-12.0	20.6	63.3	63.3	63.3	63.3	63.3	63.3	63.3	
21.3	8.2	109.6	0.0	6.9	89.3	1.4	28.1	146.1	146.1	146.1	146.1	146.1	146.1	146.1	
21.4	7.6	107.5	0.0	6.1	84.9	1.5	29.6	153.4	153.4	153.4	153.4	153.4	153.4	153.4	
5	7.8	107.6	0.0	5.1	76.4	2.7	32.3	157.1	157.1	157.1	157.1	157.1	157.1	157.1	
6	6.8	111.8	0.0	5.2	77.5	1.5	33.8	165.3	165.3	165.3	165.3	165.3	165.3	165.3	
7	6.4	123.0	0.0	6.2	93.5	0.2	34.0	171.0	171.0	171.0	171.0	171.0	171.0	171.0	
8	6.8	133.8	0.0	5.7	92.4	1.0	35.0	165.4	165.4	165.4	165.4	165.4	165.4	165.4	
9	5.2	140.3	0.0	5.9	85.8	-0.7	34.3	158.1	158.1	158.1	158.1	158.1	158.1	158.1	
10	5.4	121.8	0.0	6.8	105.2	-1.4	32.9	151.7	151.7	151.7	151.7	151.7	151.7	151.7	
11	5.6	126.4	0.0	7.2	116.2	-1.6	31.3	154.7	154.7	154.7	154.7	154.7	154.7	154.7	
12	7.1	112.2	0.0	8.8	114.4	-1.7	29.6	139.6	139.6	139.6	139.6	139.6	139.6	139.6	
22.1	8.2	104.6	0.0	5.2	104.3	3.0	32.6	128.7	128.7	128.7	128.7	128.7	128.7	128.7	
2	6.7	106.5	0.0	6.6	132.7	0.1	32.8	122.7	122.7	122.7	122.7	122.7	122.7	122.7	
3	8.4	102.4	0.0	8.7	125.9	-0.2	32.6	116.0	116.0	116.0	116.0	116.0	116.0	116.0	
22.4	7.8	101.8	0.0	7.8	127.9	0.0	32.5	109.9	109.9	109.9	109.9	109.9	109.9	109.9	
5	7.4	94.9	0.0	5.8	113.6	1.6	34.1	105.7	105.7	105.7	105.7	105.7	105.7	105.7	
6	6.1	89.3	0.1	6.0	114.9	0.1	34.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	
7	5.6	88.0	0.2	6.7	109.2	-0.9	33.3	97.9	97.9	97.9	97.9	97.9	97.9	97.9	
8	5.2	76.1	0.4	6.4	110.7	-0.8	32.5	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	
9	3.4	65.0	0.6	6.6	111.7	-2.7	29.9	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	
10	4.5	82.7	0.2	7.2	106.6	-2.5	27.3	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	
11	4.7	83.9	0.0	7.7	106.3	-2.9	24.4	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	
12	5.8	81.3	0.0	9.2	104.2	-3.4	21.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	
23.1	7.1	86.9	0.0	5.6	109.2	1.5	22.6	69.1	69.1	69.1	69.1	69.1	69.1	69.1	
2	5.6	82.6	0.0	7.0	105.8	-1.4	21.1	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	
3	7.2	85.1	0.0	7.7	89.0	-0.5	20.6	63.3	63.3	63.3	63.3	63.3	63.3	63.3	

資料：農畜産業振興機構、日本乳業協会調べ。

注1) うち在庫対策実施量は、計画生産上実施する特別対策数量に係る消費量。

注2) 推定期末在庫量は、18年12月分以前は農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ。

注1) 国内乳業メーカー等14者計。

注2) 数値は月末在庫量。

注3) 業務用のその他は、プリント、シート、ポーション等。

注4) 家庭用は贈答用含む。

9. 主要乳製品の価格動向 (農水省生産局)

単位：円、%

区分	バター(原料もの)		脱脂粉乳		全脂加糖練乳		脱脂加糖練乳		全粉乳	
	価格 (1Kg)	前年比	価格 (25Kg)	前年比	価格 (24.5Kg)	前年比	価格 (25.5Kg)	前年比	価格 (25Kg)	前年比
19年度平均	966	102.2	13,162	101.1	8,663	100.9	7,976	100.8	19,468	100.4
20年度平均	1,135	117.5	14,785	112.3	8,909	102.8	8,297	104.0	20,975	107.7
21年度平均	1,118	98.5	15,054	101.8	8,902	99.9	8,355	100.7	21,482	102.4
22年度平均	1,054	94.3	14,643	97.3	8,830	99.2	8,337	99.8	21,343	99.4
21.3	1,177	115.8	15,160	112.3	8,979	103.2	8,430	104.6	21,512	108.8
21.4	1,178	111.1	15,226	108.0	8,982	101.6	8,411	103.2	21,674	106.6
5	1,173	109.2	15,254	106.6	8,979	101.3	8,411	102.4	21,580	105.3
6	1,158	106.1	15,241	104.1	8,962	100.8	8,389	102.1	21,625	105.0
7	1,164	103.6	15,172	103.2	8,953	100.7	8,389	102.0	21,597	104.4
8	1,131	99.6	15,030	101.8	8,911	100.1	8,389	101.2	21,593	103.0
9	1,114	97.5	14,949	100.8	8,886	99.6	8,339	100.1	21,534	102.2
10	1,102	95.5	14,943	99.9	8,870	99.4	8,339	100.1	21,391	101.2
11	1,085	93.4	14,931	99.9	8,843	99.1	8,318	99.8	21,366	101.1
12	1,086	93.4	15,005	100.2	8,859	99.3	8,318	99.8	21,337	100.9
22.1	1,081	92.9	14,981	99.9	8,859	99.3	8,318	99.8	21,386	100.9
2	1,073	91.2	14,955	99.5	8,859	99.3	8,318	99.4	21,371	99.9
3	1,074	91.2	14,957	98.7	8,863	98.7	8,318	98.7	21,331	99.2
22.4	1,060	90.0	14,922	98.0	8,870	98.8	8,331	99.0	21,365	98.6
5	1,057	90.1	14,884	97.6	8,844	98.5	8,331	99.0	21,363	99.0
6	1,051	90.8	14,751	96.8	8,843	98.7	8,331	99.3	21,364	98.8
7	1,049	90.1	14,656	96.6	8,816	98.5	8,331	99.3	21,360	98.9
8	1,049	92.7	14,610	97.2	8,817	98.9	8,318	99.2	21,336	98.8
9	1,050	94.3	14,593	97.6	8,816	99.2	8,331	99.9	21,342	99.1
10	1,050	95.3	14,568	97.5	8,816	99.4	8,331	99.9	21,300	99.6
11	1,050	96.8	14,571	97.6	8,817	99.7	8,331	100.2	21,314	99.8
12	1,051	96.8	14,574	97.1	8,816	99.5	8,331	100.2	21,341	100.0
23.1	1,062	98.2	14,564	97.2	8,816	99.5	8,331	100.2	21,334	99.8
2	1,057	98.5	14,512	97.0	8,817	99.5	8,331	100.2	21,334	99.8
3	1,065	99.2	14,515	97.0	8,870	100.1	8,419	101.2	21,361	100.1

注) 価格は大口需要者向け販売価格である。

10. 乳製品の輸入状況 (平成23年3月)

区分	生乳 換算率	平成23年3月単月				23年3月累計				CIF平均 単価 円/kg 下段前年	
		輸入量 (ト)	輸入金額 (千円)	生乳換算 (ト)	前月比 (%)	前年比 (%)	輸入量 (ト)	輸入金額 (千円)	生乳換算 (ト)		前年比 (%)
脱脂粉乳 (学乳)	6.5	248	91,642	1,611	125.4	90.2	446	149,523	2,897	81.2	335.5
脱脂粉乳 (飼料)	6.5	3,314	738,094	21,542	176.1	62.1	6,618	1,452,643	43,017	71.9	219.5
脱脂粉乳 (その他)	6.5	385	102,648	2,505	113.6	389.8	907	224,140	5,894	209.9	247.2
全脂粉乳	9.1	6	14,476	53	2,437.9	928.7	10	28,700	91	118.0	2860.3
全脂無糖練乳	3	52	23,118	156	36.7	23.0	285	125,278	855	63.4	3359.8
全脂加糖練乳	2.79	0	0	0.0	—	—	0	0	0	—	439.4
ホエイ	3.4	10,370	2,246,107	35,260	—	96.0	19,296	3,920,948	65,607	91.5	410.7
バター	12.34	43	30,157	526	115.3	82.0	121	89,646	1,493	82.7	203.2
ナチュラルチーズ	12.65	19,589	7,581,211	247,806	119.3	90.7	49,910	19,406,633	631,358	99.4	186.3
プロセスチーズ	11.29	703	479,089	7,933	140.4	97.9	2,098	1,431,538	23,684	103.6	741.0
アイスクリーム	2.5	631	182,662	1,578	177.0	87.3	1,427	435,244	3,567	89.6	500.5
乳糖	3.24	6,536	684,264	21,178	102.0	120.5	19,333	2,032,458	62,640	102.6	388.8
ココア調製品 (加糖のもの)	8	1,871	334,103	14,967	93.2	92.6	6,665	1,135,706	53,322	101.1	682.4
ココア調製品 (無糖のもの)	8	3,033	1,119,451	24,267	125.6	71.6	9,030	3,326,905	72,243	77.7	676.5
調製食用脂	10.54	3,201	1,288,676	33,736	234.7	76.8	6,065	2,496,498	63,930	91.4	305.0
調製食用脂 (低乳脂肪)	4.52	403	132,366	1,823	117.0	151.1	1,120	366,025	5,063	107.1	322.8
粉乳調製品 (バーカリー製品用)	1.62	390	41,103	632	92.7	83.3	1,219	122,124	1,975	80.1	368.4
粉乳調製品 (その他)	1.62	14,677	2,339,913	23,777	159.7	100.7	37,009	5,461,037	59,955	98.1	343.2
カゼイン	3.24	1,121	913,541	3,631	86.7	84.9	3,666	3,001,860	11,877	88.1	411.6
合計		66,574	18,342,621	442,979	137.3	88.7	165,226	45,206,906	1,109,469	95.5	328.8

作成：社団法人中央酪農会議

資料：「日本貿易統計」

注1) 生乳換算率は、調製食用脂及びココア調製品の成分が一樣でないこと、ならびに一応の前提のもとに本会議が推定し、固定化して使用している。

注2) 対前年比は、生乳換算ベースで行っている。

11. 粗飼料の輸入状況 (平成23年3月)

区分	平成23年3月単月			CIF平均単価 円/Kg 中段前月 下段前年		平成23年3月累計		CIF平均単価 円/Kg 中段前年同期	
	輸入量 (ト)	輸入金額 (千円)	前月比 (%)	前年比 (%)	輸入量 (ト)	輸入金額 (千円)	前年比 (%)	輸入量 (ト)	輸入金額 (千円)
アルファルファ ハイ・キューブ (1214.90-010)	22,970	570,679	129.0	94.9	61,591	1,540,181	95.0	25.0	25.8
アルファルファ ハイ・ペレット (1214.10-000)	7,215	215,689	192.1	115.3	30,045	850,594	105.7	28.3	30.6
ビートパルプ・ペレット (2303.20-000)	38,976	816,339	100.1	83.8	104,155	2,218,439	107.3	21.3	23.7
稲わら (1213.00-000)	35,666	931,930	151.5	148.6	88,711	2,272,152	114.6	25.6	23.9
その他牧草 (1214.90-090)	196,100	5,900,721	115.4	107.4	541,044	16,229,138	107.3	30.0	30.1
ふすま (2302.30-000)	7,597	150,917	64.6	320.5	21,036	403,075	130.4	19.2	18.8
綿実 (1207.20-000)	9,853	289,145	119.3	—	26,813	757,313	—	28.2	—

資料：日本貿易統計
注) 前月比と前年比は数量ベースである。

12. 家計消費の動向 (全国・1人当たり)

暦年・月	牛乳		ヨーグルト		粉ミルク		バター		チーズ	
	金額 (円)	数量 (200cc本)	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (g)
19年	5,454	144.1	2,535	150.1	82.8	161.5	1,085.8	108.9	1,085.8	768.1
20年	5,254	96.3	2,503	99.0	147.3	107.6	255.8	142.5	1,195.7	714.0
21年	5,359	102.0	2,635	105.3	142.2	96.6	275.1	158.4	1,307.5	800.5
22年	5,205	97.1	2,754	104.5	167.4	101.5	279.1	167.4	1,313.1	836.4
21.3	425	97.2	225.4	103.4	86.0	98.2	25.4	14.5	107.1	65.0
21.4	435	100.7	231.8	106.9	86.5	81.0	20.9	12.2	107.4	62.7
5	451	97.9	234.7	105.4	94.6	93.1	23.8	10.4	111.3	66.9
6	455	100.5	235.4	105.4	96.9	93.1	19.9	11.6	103.2	61.1
7	479	100.4	241.5	107.5	96.8	113.7	19.6	11.6	124.9	58.8
8	487	102.1	232.2	107.8	76.0	108.9	17.7	10.0	100.6	60.3
9	467	100.9	220.0	105.3	27.1	135.2	14.8	12.2	103.2	64.2
10	472	107.2	220.3	105.9	98.0	111.8	22.6	11.0	111.1	70.6
11	443	107.6	206.5	106.6	102.1	134.2	27.1	15.5	138.0	68.4
12	453	101.1	202.9	104.3	95.7	121.1	28.4	16.8	133.5	78.1
22.1	406	106.2	193.5	103.9	85.5	111.2	21.0	11.3	102.9	66.0
2	391	101.5	196.8	102.7	97.6	105.9	26.2	14.9	106.8	69.6
3	421	99.0	228.8	101.5	20.4	80.3	26.2	15.5	118.1	73.8
22.4	420	96.6	237.2	104.3	75.5	105.3	22.0	12.9	103.4	69.9
5	444	98.4	245.0	104.4	86.3	95.2	22.7	13.9	110.4	68.3
6	457	100.3	247.9	105.3	79.2	108.8	21.7	12.6	103.6	65.7
7	474	99.0	243.7	100.9	100.6	90.7	17.8	10.7	96.4	61.5
8	498	102.1	234.6	105.1	83.1	102.1	18.1	11.0	97.4	63.8
9	468	100.2	233.2	108.7	63.0	97.3	21.0	12.6	105.8	66.3
10	450	95.5	233.7	106.1	126.1	113.2	25.6	15.5	114.2	72.8
11	417	94.1	219.1	106.1	103.2	93.2	25.2	15.5	117.5	75.4
12	431	95.3	214.6	105.8	82.4	99.5	28.2	16.6	136.7	84.7
23.1	377	92.9	210.4	108.7	97.5	103.4	21.8	13.3	103.6	69.5
2	363	93.0	214.6	109.0	93.8	107.4	28.2	16.8	113.0	67.0
3	405	96.2	214.2	93.6	139.7	102.5	26.9	15.9	109.1	71.5

参考

暦年・月	牛肉		米(うるち米)		生鮮野菜		マーガリン		消費支出		食料費		
	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (kg)	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (g)	金額 (円)	数量 (g)	
19年	6,650	100.6	9,834	100.5	27.4	102.0	56,624	247.2	449.8	1,143,295	101.8	287,547	
20年	6,438	96.8	9,919	100.9	28.0	102.3	57,223	101.1	447.6	1,131,187	98.9	288,863	
21年	6,434	99.9	9,780	98.4	27.1	97.9	58,502	102.2	448.2	1,130,603	99.9	288,661	
22年	6,118	95.1	9,223	94.5	27.1	98.7	55,109	94.2	400.2	1,118,130	98.9	285,534	
21.3	374	70.1	771	97.7	2.04	94.3	4,742	100.5	38.9	99,897	100.0	23,630	
21.4	485	92.8	784	102.4	2.13	103.1	4,722	97.8	37.9	98,502	99.5	22,696	
5	568	102.3	770	105.2	2.00	97.4	5,172	104.3	41.5	91,810	99.7	24,742	
6	492	97.7	723	95.8	1.95	94.6	5,106	102.9	37.0	89,144	99.0	23,123	
7	487	94.0	748	107.8	2.06	111.2	4,572	104.7	37.6	91,665	96.2	24,055	
8	599	101.5	780	110.0	2.13	103.3	4,247	98.6	35.2	93,862	100.9	25,829	
9	488	98.2	1,029	98.5	3.15	97.6	1,803	103.6	42.4	89,390	99.1	23,321	
10	510	99.6	1,213	98.3	3.63	100.9	1,751	96.5	36.5	92,835	99.4	23,730	
11	510	95.3	908	88.2	2.59	82.4	1,549	97.7	36.5	91,852	100.6	23,458	
12	851	100.1	850	90.4	2.31	87.0	1,735	93.4	37.7	99.0	108,996	100.9	30,539
22.1	511	96.5	647	100.6	1.59	99.0	4,206	99.5	33.3	104.0	84,472	101.1	21,076
2	440	97.8	713	108.4	1.81	100.8	4,426	98.5	35.3	92.2	84,519	98.8	21,076
3	491	131.4	728	94.4	2.08	101.9	4,916	103.7	42.4	103.0	103,557	103.7	23,486
22.4	473	97.5	731	93.3	2.07	97.3	1,860	104.2	32.4	90,886	98.6	22,445	
5	510	89.8	739	95.9	2.05	102.4	4,452	94.3	36.2	87.4	90,846	98.9	24,254
6	437	88.7	739	102.3	2.08	106.8	4,965	97.2	35.0	94.5	89,480	100.4	22,885
7	487	100.0	706	94.5	1.99	96.4	1,674	103.3	29.4	78.3	92,322	100.7	24,151
8	520	96.7	684	87.7	2.02	94.7	1,712	99.1	30.4	86.5	94,939	101.1	25,467
9	467	95.6	947	92.1	2.89	91.9	1,792	99.4	32.4	86.5	89,116	99.7	22,830
10	496	97.3	1,070	88.2	3.34	92.0	1,931	110.3	35.0	95.9	93,020	100.2	23,784
11	489	95.3	871	98.9	2.56	98.8	1,739	112.3	31.4	86.1	91,978	100.1	23,073
12	820	96.3	819	96.3	2.44	105.6	1,868	107.7	34.4	106.171	97.4	30,549	
23.1	503	98.5	515	87.6	1.56	97.7	1,558	101.0	30.2	90.6	93,893	99.4	21,118
2	448	101.8	579	90.3	1.65	91.3	1,613	103.1	33.7	95.4	84,399	99.9	21,083
3	469	95.5	823	113.2	2.42	116.4	1,765	101.1	39.7	93.9	94,881	91.6	22,894

資料：総務省「家計調査月報」

中酪情報 No.533

2011年5月31日発行

毎号奇数月末発行

発行：社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：内橋政敏

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

TEL：03-3219-2611（代） FAX：03-3219-2622

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL：03-3219-2611(代) FAX：03-3219-2622

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編集後記

民主党農政の柱は、消費者ニーズに適った生産体制への転換（食料対策）、戸別所得補償制度の導入（農業対策）、農業の6次産業化（農村対策）であり、この3本の柱の積極的な推進によって、食料自給率目標50%の達成に向け農業競争力の強化を目指しています。

このうち農業の6次産業化では、農産物の加工・直売による販売価格の向上や、輸出・エネルギー等新市場開拓による販売量の増加によって、所得の向上と雇用の確保を達成し、農村地域を再生・活性化するとしています。しかし、農産物の加工や販売を重視する6次産業化は、すべての農業経営に必ずしも適格的ではなく、諸施策の強力な支援の下でも、農業者個人が取り組むことは容易ではありません。

しかし、本号リレーコラムの執筆者である鷓川先生によると、牛乳乳製品の製造・販売は酪農経営に新たな付加価値を生み出すものであり、酪農における6次産業化の典型とも言えます。この新たな付加価値とは製品の差別化、雇用労働力の増加、製品の販路開拓による「所得の向上と雇用の確保」にほかなりませんが、ミニプラントは酪農への理解と支持を広げる可能性を内包していることも事例分析によって明らかになりました。（K.N.）